

行きずりの「旅の情け」を、この時ほど強く感じたことはなく、旅する毎に思い出す。

もう四十年も前、浜松出身のSさんの紹介で、舘山寺へ行った。自家用車による親子四人の初旅で、わくわくして旅館に到着。

ご当地特産のうなぎ料理に、浜名湖が一望できる特別室のおもてなしを受けた。話によると、大変お世話になったSさんへのご恩返しと言う。恐縮しつつも、人の取り持つご縁に思いを馳せ、一路御前崎に向かった。

戦争末期、郷土の先輩がB29を迎撃して散華した浜松沖上空を望みながら、国民宿舎に着くと、小学六年の息子が、「夏休み学習帳」を忘れてきたと言う。慌てて電話すると快く承知して、早速浜松銘菓まで添えて送って下さった。中に、「お菓子は勉強のご褒美です。又、御家族でお出てください」という心温まる手紙が入れてあった。息子は、浜松での旅の情けをかみしめるかのように、何度も何度も読み返していた。